

沖 代

スローガン

子どもの声が聞こえる あたたかみのある地域を目指して

実践目標①つながいづくりはご近所から始めよう！

実践目標②我が事として、防災を地域みんなで進めよう！

実践目標③気軽に相談できる関係を作ろう！



沖代地区は、かつて沖代平野として田園が広がっていましたが、現在は中津市内で最も高齢化率の低い新興住宅地域となっています。

沖代すすめに代表される地域ボランティア活動や、住民型有償サービス活動、地域福祉ネットワーク協議会等の取組みは市内で最初に始まったことから、「住民主体の地域づくり」の先駆的な活動として、県内外からも見学、研修に数多く訪れています。また、地域行事や公民館活動なども活発に行われており、地域の中での支え合い意識が徐々に広がってきています。

	2011 (H23) 年	2016 (H28) 年	2021 (R3) 年
人口	7,951	8,131	8,332
世帯数	3,232	3,453	3,810
高齢化率	15.5%	19.3%	22.0%
一人暮らし高齢者	316	407	503
高齢者のみの世帯		1,111	1,278
0~18 歳人口	1,827	1,771	1,709

※各年ともに9月30日時点のもの(中津市の統計データより)

実践目標と理由・効果

実践目標①

つながいづくいはご近所から始めよう！

地域での行事や活動はたくさん行われていますが、「隣に住んでいる人を知らない」「活動の仲間はあるが、近くに住む知り合いはいない」などという声が多く、近所づきあいが希薄だと感じている人がいることが分かりました。

地域での行事や活動での関わりに加え、身近に住む人同士が関係性を築くことで日頃からの声かけができ、困った時には互いに助け合える地域へとつながります。また多くの人と関わり、お互いを知ることで、様々な相手に対する理解を深めることもできます。

実践目標②

我が事として、防災を地域みんなに進めよう！

「災害経験がないのでいざという時どうしたら良いかわからなくなると思う」「何も準備ができていないので心配」「避難所が機能するのか？」などという声が多く、災害時の対応に不安を感じている人がいることが分かりました。

大きな災害がなく防災について意識する機会が少ないため、防災を学び、考える機会を設けることが必要です。その防災の取り組みを通じ、“災害は誰もが自分自身に関係すること”という意識を一人一人が持つことで、沖代地区全体の防災意識・支え合い意識の向上につながります。

実践目標③

気軽に相談できる関係を作ろう！

「気になることがあるけれど、相談する場所が分からない」という声や、「誰に相談すれば良いのかわからず困ったことがある」などという生活の中での不安の声が多くありました。

相談窓口がわからず声をあげられない人も、まずは身近な人に相談できる環境があることで不安が解消され、その中で必要に応じて相談できる場があるという情報や、相談窓口について広く周知していくことで、安心して住み続けられる地域へとつながります。

他にも出ましたこんな課題!!

隣近所で気軽に支援
できる関係づくり

地域の情報を共有
しよう



障がいのある方への
理解を深めよう

認知症の勉強会を
開催しよう

【沖代】

活動内容	進 捗				
	R4	R5	R6	R7	R8
あらゆる年代との交流の場や、多世代が集まるイベントを開催する					
認知症になる前から関わり(交流)が持てる場所をつくる					
班ごとなど狭い範囲での会合を開催する					
普段から、ご近所同士での声かけなど交流おこなう					
見守りや公的な支援が関わっていない方を把握し、声かけをおこなう					
若い人にも興味を持ってもらえる内容で開催する					
子ども食堂等、困っている家庭をさりげなく支援できる「場」づくり					
学校、PTA から若い世代に働きかけ、地域行事等への参加を促す					
退職後の男性が気軽に行ける場、父親が集まる会のような場をつくる					
災害時や避難時などに、電話や声かけをおこなう					
避難所の場所を改めて周知する					
避難所体験をおこなう					
高齢者や障がいのある方の現状を知り、関わり方等学ぶ機会をもつ					
自治委員や民生委員が意見交換する場を設ける					
ひきこもりの人やその家族が、身近な人へ相談できる環境づくり					
家族や近所で困っている人のことを、身近に相談できる場づくり					
誰もがみえる所に掲示板を設置し、地域の情報を広報する					
自治会活動の良さを広めていく					
広報、情報発信を行う（口コミや直接の誘いが効果的）					
相談窓口の周知をし、相談のしくみづくりをおこなう					

ゴミのマナーを周知しよう

ボランティア活動の周知とリーダーの育成

誰でも行ける場づくり

病院受診や買い物に関する情報提供を行おう

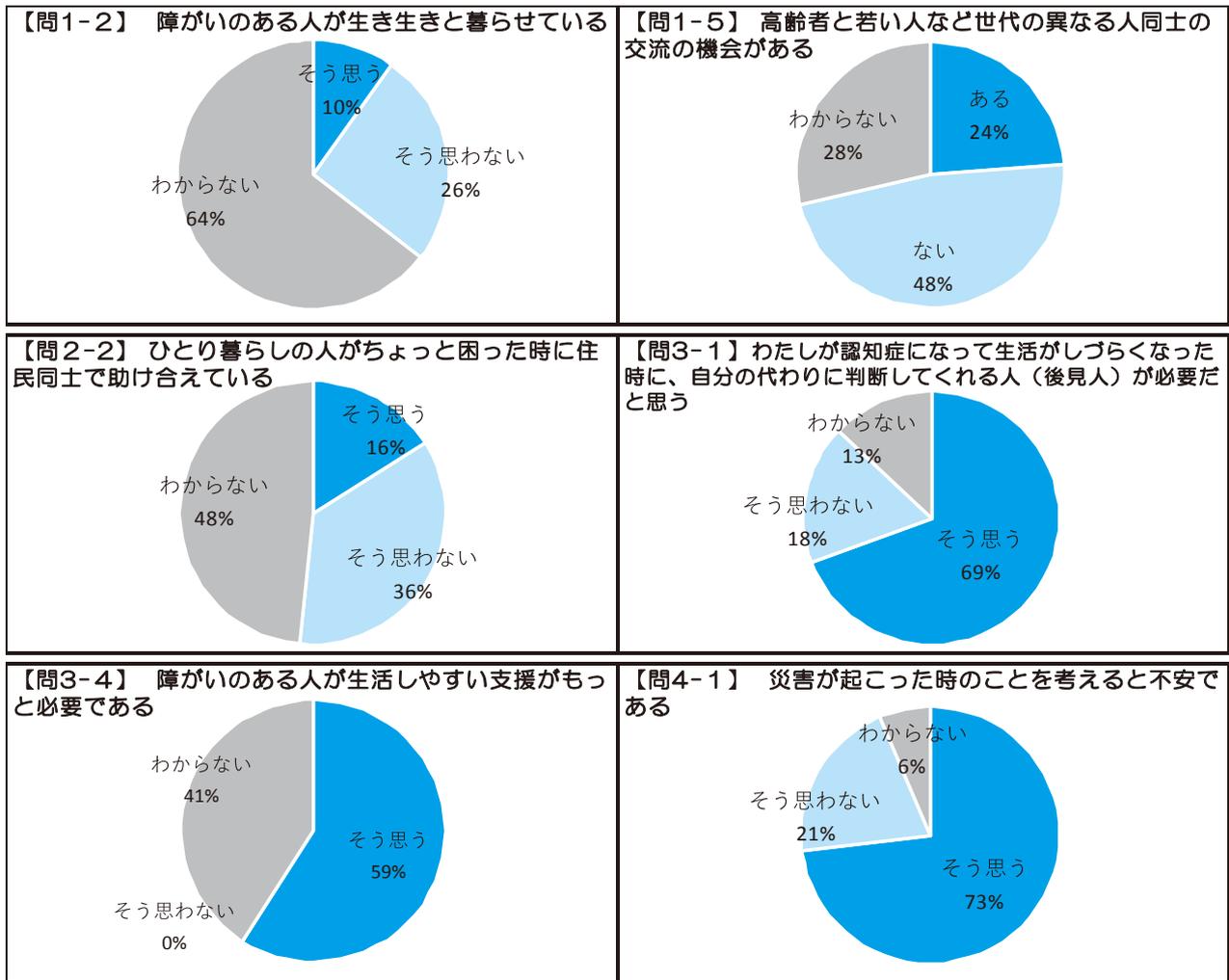


第4次の実践目標はこうして決まりました

沖代地区の「地域のつながりアンケート」結果

回答者数	63人（男性28人/女性35人/無回答0人）
回答者年代	中学生・高校生：7人、20代：1人、30代：4人、40代：5人、50代：11人、60～64歳：3人、65～74歳：18人、75歳以上：14人

内容抜粋 無回答分は除いています



アンケート結果から作業部会で出た意見(課題)

- ・地域で子育てをしていけるような体制づくりが必要
- ・共通した活動でのつながりが必要（ママさんバレーなど）
- ・困った時に、連絡できる相談先をつくる
- ・ボランティアなどを主導するリーダーの育成が必要
- ・空き家の雑草などは市の環境政策課へ相談できることを周知する
- ・障がい当事者の声が必要。共に具体的に出来ることを考えられる場づくり
- ・趣味（ゲームなど）を通じてひきこもりの人と近づくきっかけをつくる
- ・できるだけ早い年齢での支援が大切
- ・ひきこもりの人の生き方に共感するなど、メンタル面への支援が必要

作業部会で出された、沖代地区の良いところ

- ・近所付き合いが良好で、とても住みやすい
- ・皆協力的で仲も良く、地区によってまとまっている
- ・良い所はしっかりあいさつができる所
- ・区長さんがとても良く活動しているのが良い所
- ・少し高齢化していますが、元気な人が活躍している
- ・地域行事を通して世代間交流をしている
- ・公民館での活動、イベントが充実している
- ・大きな事件などなく、危険な印象がない地域
- ・地域ボランティア活動している人やグループがある
- ・防犯活動や見守り隊、公民館活動、清掃活動、サロン活動など様々な活動が行われている
- ・すすめの家など皆で集まって活動するグループもありボランティア活動が盛んな地域
- ・地域で一人暮らしの人に普段から声かけをする環境にあり、気にかけている
- ・一人で外出ができない人などに、どんぐりサービスが付き添い支援をおこなっている



様々な意見をもとに作業部会で、整理をし、第4次地域福祉活動計画を作っていました



沖代の社会資源

(R3年度現在、登録状況や作業部会の方々の意見を参考に作成しています)

お宝 (住民による住民のための支え合いや参加を進める活動のことです)

住民同士の 交流・つながりの場	地域サロン	地域サロン「すすめの家」 (毎週火、金曜・沖代寄合い所すすめの家)
	広域型いきいきサロン	地域サロンのじこ (毎週木曜・沖代公民館)
	いきいきサロン	サロンひまわりの種 (毎月1回日曜・沖代寄合い所すすめの家)
	週一体操教室	沖代中一クラブ (毎週水曜・まなびん館)
	その他	のぼたんの会 (年4回・団地8班会議) ラジオ体操 (豊陽公園、沖代公民館)
ボランティア活動	給食ボランティア	秋桜子 (第1水曜・沖代公民館)
	沖代で活動する地域ボランティア	地域ボランティア沖代すすめ演芸部 沖代すすめ手芸部シュシュ 沖代小読み聞かせグループ オルゴール
住民型有償サービス		沖代どんぐりサービス
防災活動		中津市防災士協議会沖代部会、消防団
防犯活動		防犯パトロール隊、交通安全沖代女性部、パトロール犬

関係機関主催の交流の場・社会貢献活動

名称	主催	対象・内容
よりあ	沖代地区生活支援コーディネーター	高齢や介護について学ぶ場として開催 (沖代寄合い所すすめの家)

地区内の相談窓口

高齢者の生活全般に関する相談窓口	地域包括支援センター (高齢者相談支援センター) 創生園
民生児童委員による心配ごと相談窓口	毎月第1月曜 12:30 ~ 15:00 沖代公民館
生活支援コーディネーターによる相談窓口	毎週木曜 15:00 ~ 16:30 沖代寄合い所すすめの家
障がい児・者、高齢者に関する相談窓口	相談支援事業所 たいじゅ

その他の相談は、社会福祉協議会または市の総合相談窓口 (P.153参照) にお問い合わせ下さい